



第12回 旅リハ 活動レポート

平成27年4月19日(日)に倉敷ブロック(笹沖、水島、中洲、玉島、総社)、本部センターでの旅リハを開催しました。今回は、広島県呉市にある「大和ミュージアム」への旅でした。また今回よりブロック運営となっております。当日は、ご利用者様79名(ご家族様含)、ボランティアスタッフ24名の計103名の参加で実施致しました。あいにくの雨となったと思いましたが、現地では雨も止み、傘・カッパなしでの活動を行うことができました。自宅を一步出るとまだまだバリアの世界は多くあります。そのバリアがある中でどのように旅行に行くことができるか、普段のデイサービスや訪問リハビリの場面で旅行を想定したプログラムを何回も繰り返してきました。旅行までの過程が実はとても大切です。そのリハビリの成果を試す場でもあるのが旅リハです。

私自身も旅リハに今回で11回目の参加となりましたが、旅リハを通じ想うことはご利用者様はもっとできる事は多くあるということです。今回、遊覧船に乗る機会がありましたが、揺れる船に次々にご利用者様は乗っていかれます。車椅子での乗船ができない遊覧船でしたが、進行性の難病でバランス保持が難しいご利用者様も車椅子から立ち上がり、ボランティアスタッフのフォローで歩行にて乗ることができました。毎回、充実した表情でお土産をいっぱい購入されるご利用者様の姿が印象的です。その姿は自信に満ち溢れており、次の旅へと繋がっていきます。ご家族様も笑顔で帰って来られたご利用者様をお迎えに来られ、「行って良かったね」と声をかけてくださいます。



生活空間を拡大する為にもこのように旅行に行き、自信をつけていただくことが大切です。今後も旅リハは深化して継続していきます。



※未来想造舎 和久とは？

障害者自立支援法に基づく就労継続支援の場、雇用型の就労継続支援A型と非雇用型の就労継続支援B型があり、椎茸の加工はB型事業所が担っています。社会参加の場としての役割もあります。

05 グループ会社の取り組み

入社式

3月31日、和久ステップ茶屋町A型に新しい仲間が増えました！昨年に引き続き入社式を行いました。理事長はじめ、理事の面々、現場管理者、ご両親にもご参加いただくことができました。

入社されたご利用者様は、緊張した面持ちでしたが、新入社員の挨拶も堂々とお読み下され、とても温かく和気あいあいとした入社式になりました。これからの和久でのご活躍、そしてその次のステップを目指して、職員一同しっかりとご支援していききたいと思います。



ふれあい公社配食スタート

4月より、和久ステップ茶屋町A型就労継続支援事業所で、岡山市ふれあい公社のデイサービスへの配食をお任せいただくことになりました。「身体にも舌にも美味しい食」をテーマに、季節の食材、パワーアップメニュー等の工夫を凝らしながら、ご利用者様に喜んでいただける食事の提供に、職員、利用者一同努めていきたいと思います。



NPO法人

未来想造舎和久

お問合せ

TEL.086-420-1500

〒701-1101 岡山県倉敷市茶屋町2104-1

(担当：鈴鹿)



5
月号

心
創
か
ら



第12回 旅リハ 大和ミュージアムへ

心身機能の向上から活動・参加の促進

01 平成27年6月1日オープン予定

リハケアタウン東館
内覧会開催

02 第9回 全国事例発表会 報告

03 第8回 本物ケア学会 開催

04 第12回 旅リハ 活動レポート

05 グループ会社の取り組み

01

平成27年6月1日オープン予定 リハケアタウン

リハケアタウン東館 リニューアル オープン！(予定) 地域向け内覧会開催！

6月1日

5月12日(火)、14日(木)、15日(金)
各日 10:00～16:00

以前より、告知しておりました、リハビリ倶楽部茶屋町（リハケアタウン東館内）のリニューアル OPEN が近づいて参りました。つきましては内覧会を企画しましたので、ぜひご来館ください。

5月13日(水)のみ 午前の部 10:00～11:30 午後の部 13:00～14:30 ケアマネジャー様向け内覧会 開催

見どころ1 地域住民参加型のイベントを開催します。

今後のデイサービスは要介護者が社会との接続機会を創れる場所として一層の期待を持たれるようになると私たちは考えています。そしてイベントを開催することで、地域ボランティアの方や住民サポーターの方々に関わって頂きたいと考えています。

また、イベント開催スペースとして施設を地域に開いていくことで、住民の交流機会ができ、現在介護状態でない方にとっても介護予防効果や地域支援のネットワークが築けるのではないかと考えています。

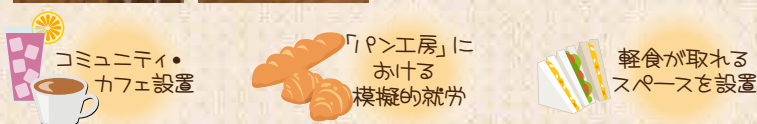
見どころ2 コミュニティスペースとしてカフェを設置します。

日常的に高齢者や障がい者の方が外出していく機会の創造として、カフェコーナーを設置します。こちらのカフェコーナーには、ドリンクや焼き立てパンを提供します。パン工房Liaison（リエゾン）監修により本格的なパンを提供致します。その製造過程には、要介護者や障がい者の方が模擬的に就労する場にしたいと考えています。障がいがあっても「できる」を「知る」機会が大切と考えております。地域住民の方々にはぜひたまり場のようにご利用して頂ければと思います。



内覧会中だけの特別企画

- ・パン工房Liaison（リエゾン）さんパンを先着50名様にプレゼント。
- ・介護よろず相談コーナー
- ・リハビリメニュー体験コーナー



内覧会
ご予約
窓口



株式会社創心會®

☎ 086-420-1501

担当/田中

このリハビリ倶楽部は、「心身機能の向上から活動・参加の促進」という、自立のステップアップが見えるサービスの流れをテーマに考えています。

例えば、「歩行できるようになりたい」ということが目標になっている方には、「歩行ができればどんなことを達成されたいですか?」とお伺いするのが創心會のリハケアスタッフです。

つまり、ご利用者の生活や目標達成へのゴールイメージを描きながら、共にリハビリや介護の提供に取り組みたいと考えています。そして、介護サービスのご利用がそのご利用者の自立支援の“行き止まり”になってしまわないように、自立のステップアップをイメージできる生産活動的なサービス環境も今回のリニューアルの見どころです。

02

第9回 全国事例発表会

福山センター 井上直樹さん 優秀賞受賞！

テーマ

「『その気になる』が『もっとできるをもっと知る』～全盲の利用者様への介入～」

平成27年2月21日(土)、愛知県名古屋国際会議場にて、第9回全国事例発表会（主催：『民間事業者の質を高める』（一社）全国介護事業者協議会）が開催されました。本大会では、「いかにして“自立”を支えるか?」をテーマに、全国選りすぐりの介護サービス事例が紹介されました。

中国地区の代表として、選抜された井上直樹さん（福山センター）は、訪問リハビリに関わった利用者様を、以前のように登山倶楽部への参加意欲を後押しする為に、自らが登山を体験し心身機能のリスクを分析して、利用者様の不安レベルを下げていく積極的な行動実践で、その目標支援を達成させられたという事例を発表しました。



受賞された井上さんの声

今回、自分の事例発表を全国の皆様の前で発表できたこと、機会を頂けたことをとても感謝しています。人前で発表する経験があまりなく、社内なら、という気持ちで本物ケア学会に投稿しました。そこで、論文作成に当たり書き方や発表についても応援や指導を頂き全国に行く時には不安も少なかったように思います。人前で事例を伝える事で自身の考え方や取り組みを深く振り返る事が出来、最高の成果がでる勉強だと感じました。

03

第8回 本物ケア学会

まだまだ
出席者募集！
(お申込みは、本物ケア推進部 佐藤まで)

「第8回本物ケア学会」 平成27年 6月14日(日)開催！

- 演題 1 介護度改善率分析について ～倉敷ブロック通所部門～
- 演題 2 岡山ブロック通所における介護度改善率
～平成26年4月～平成27年1月末までのデータから～
- 演題 3 訪問作業療法において短期での卒業に至った事例 ～MTDLPを活用した実践～
- 演題 4 リハビリ倶楽部のご利用者様の就労に向けたアプローチ
- 演題 5 未来想造舎和一の支援モデルについて
～「利用者」から「生活主体者」へ 真の自立を目指して～
- 演題 6 生活援助とは ～今後の生活援助の発展～
- 演題 7 あっぱれ！制度と定着率の相関関係の分析
- 演題 8 ラダー教育プログラムの作成 訪問看護を見る化するために
- 演題 9 ヘルパーステーション、求人活動を通じて
- 演題 10 身体機能に焦点を置いていた私が、ご利用者様の一言で
室内から室外へと広がり、健康状態が回復傾向に向かっている症例
- 演題 11 アイドルへのファンレターと一緒に作成する事で活動への視野が広がった事例
～不定愁訴が多く、ベッド上での生活が中心のご利用者様～
- 演題 12 施設入所を選ぶとき ～家族の葛藤に注目した援助終結の2事例から～
- 演題 13 活動と参加に向けてのケアマネジメント
～パーキンソン病の2つの事例検討を通じて～
- 演題 14 認知症のご利用者の見当識障害が改善した一事例 ～音楽療法介入を通して～
- 演題 15 地域性を活かしたピアグループ形成支援 ～児島楽喜(ラッキー)タイム～
- 演題 16 地域包括ケアシステムの構築における、医療・介護連携
～倉敷圏域版「医療・介護連携シート」の作成と周知活動～
- 演題 17 面接から生活史を聴取、プログラムを再考した結果、生きがいを見出した事例について
- 演題 18 生活行為向上マネジメントを使用し、活動性の向上を図った症例
- 演題 19 「衣替え」という作業に焦点を当てたトップダウンアプローチ
～面接を通じた利用者様との協働関係の構築へ～
- 演題 20 不安ばかりの在宅生活に「できる」をもっと知ることでピアサポーターに移行した事例
- 演題 21 ヴィジョントレーニングについて

地域社会への更なる貢献と「目的志向で切れ目のない福祉・介護事業」の推進に向け、NPO法人 未来想造舎和久、農業生産法人 合同会社ど根性ファーム、株式会社ハートスイッチの各企業を設立。この過程においては、弊社をご利用いただいている方々に積極的に社会参加を図る機会や、障がいを持つ方への就労継続支援事業、さらには高齢者を含めた就職困難者への雇用機会の提供事業等を円滑に推進して、地域社会にさらに貢献できるようにと、全社・グループ一体となって取り組んでいます。諸事業推進の一環として、高齢者・障がい者の自己実現・自己表現を支援し、サービスの連携によって機能回復、自立支援を促進できる事例や情報を発信できる場を目指して、本物ケア学会を開催します。

日時 平成27年 6月14日(日)
AM9:00～PM3:30

場所 マービーふれあいセンター
岡山県倉敷市真備町箭田40-1



お問い合わせ ☎ 086-420-1500 本物ケア推進部 佐藤まで